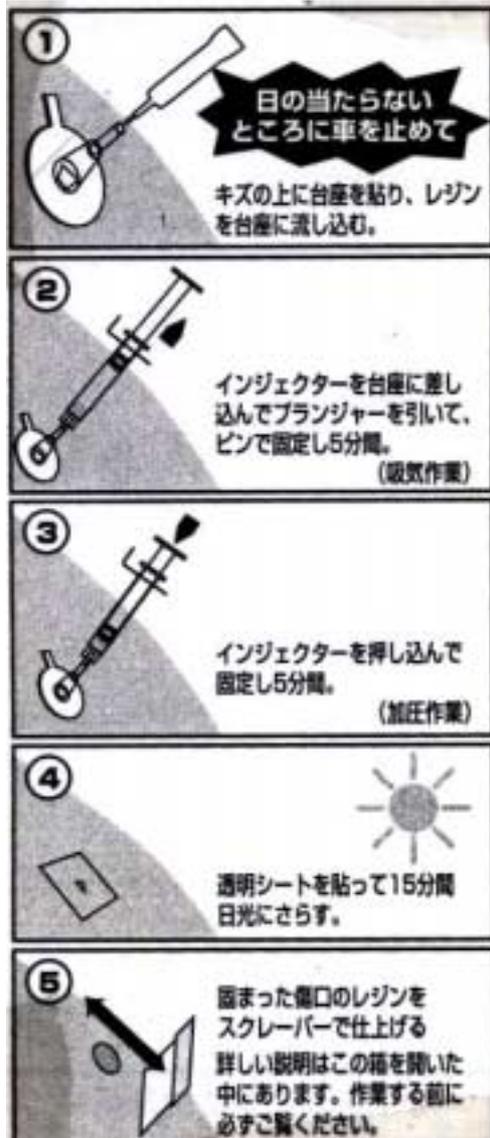


**EA922AB-40**  
(ウインドウリペアミニ)

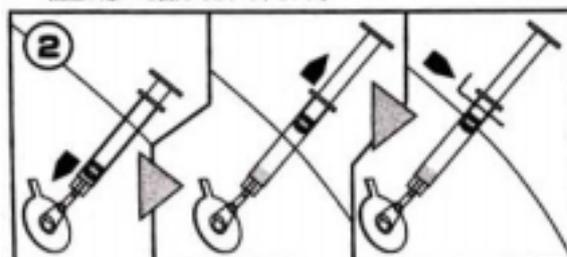
- 自動車フロントガラス補修剤
- 容量 5ml
- 比重 1.06
- 弱水溶性



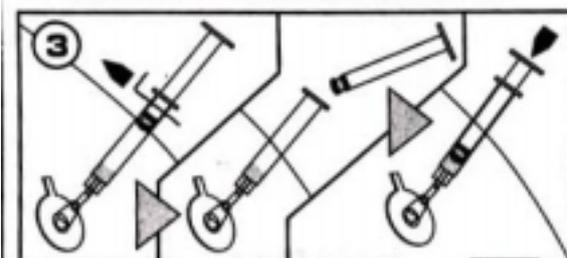


1-1 日の当たらない場所に車を止めて、ヒットポイントの余分なガラス片やゴミを取り除き、ガラスクリーナーでケミカルを取り除き、ドライヤーで十分乾燥させる。

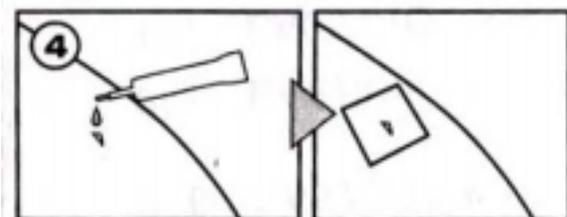
1-2 台座の裏紙をはがして、フロントガラスの傷が中央に来るように貼り、UVレジンのチューブの先端を折って、台座にUVレジンを入力する。(仕上げ用に1滴押しおいて下さい。)



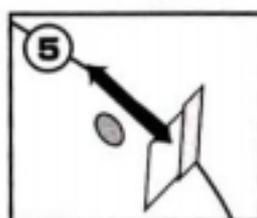
2-1 プランジャーを押し込みきった状態で、インジェクターを台座に差し込む。  
2-2 プランジャーを引いて中の圧力を下げ、キズの中の空気を抜く。  
2-3 ピンを差し込んでそのまま固定。5分ほどキズの中の空気を抜く



3-1 ピンをはすす。  
3-2 インジェクターのプランジャーを一旦抜き取って、インジェクターの中に空気を入れる。  
3-3 インジェクターのプランジャーを押し込んでキズの中にUVレジンを送り込む。  
3-4 プランジャーを押し込んだ状態でピンを再度差し込んで固定し、5分間圧力をかける。



4-1 台座をはすし傷口に1滴レジンを送らす。  
4-2 透明シートをキズの上に貼り、スクレーパーで上からなぞって十分空気を抜く。  
そのまま15分間、日光にさらしてUVレジン硬化させる



5 透明シートを剥がし、固まった傷口のレジンにスクレーパーで仕上げ。  
(スクレーパーの刃は、ガラスに対して90°で前後させるようにする。)

#### Step 1

作業は室内で行ってください。  
水分が残っていたり、表面に洗水加工等している場合、レジンが固まらなかったり、白濁する事がありますので、ガラスクリーナーで拭いてから十分乾燥させてください。

日本初の新製レジンですので手についても安心ですが、目など敏感な場所についての場合10分以上きれいな水で洗った後、病院等で診てもらってください。

#### Step 3

5分放置しても傷全体にレジンが浸透しない時は、温度不足が考えられます。  
Step 2-1からStep 3-4までもう一度作業をくりかえしてください。  
それでも入っていない場合は、車内側からドライヤー等で傷回りを約30秒熱してレジンの粘性を一時的に弱くして加压状態を続けます。

●ヒットポイントをガラスピックで少し上げたり、車の内側から指で軽く力を加える効果が出る場合があります。(要熱機)

●特に冬場は台座粘着テープを取り外すときキズの方向に注意してください。冬場は粘着テープの接着力が特に強くなっているので、スクレーパーで粘着テープを剥がしながらガラスに負荷がかからないように取り外してください。

#### Step 5

スクレーパーでのカットが深い場合、白い点が残ることがあります。  
白い点の上に綿棒等でレジンをはんの少し塗ることで白い点は目立たなくなります。

#### さらに良い仕上げ工程のヒント

(1) 傷表面(ヒットポイント)を補修前にチェックしてください。  
通常の傷ですと、ヒットポイントは1ミリ程度ですので通常の仕上げ作業でほとんどわからなくなります。しかし1点だけボツリと白い物が残ったりする場合があります。その場合は、その上にレジンと綿棒のような物に白い部分だけに薄く塗って硬化させます。(透明シールも必要ない場合がほとんどです。)  
硬化後はそのままにします。多くつけてしまい、硬化部分が盛り上がりってしまった場合は、下の方法を用いるか、ガラス光沢材をウエスにつけて丁寧に磨き、スクレーパーは使用しないようにします。

(2) ヒットポイントが1mm以上ある場合

通常の仕上げ工程でうまくいかない場合があります。その場合は、スクレーパーの使用方法を下記のようにして作業してみてください。  
スクレーパーでカットするところは傷の周りだけにし、ヒットポイントの周辺5mmくらいは、そのままにします。そしてスクレーパーの刃の部分を下のようにガラスに垂直に立てて刃を左右に移動させながら、表面の余分なレジンをしずくづつ削っていきます。このときいつも刃が垂直に当たるようにしてください。(えぐれ部分が取れてしまう場合があります。)  
指で触ってほとんど凸面がなくなったら、ガラス光沢材で丁寧に研磨して作業は終わりです。

